

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 4 日

事務事業名		まかべ幼稚園園児検診事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030104000100
						単独/補助	単独		090133
政策体系		政策体系上の位置付け				主要事業		所属課	まかべ幼稚園
総合計画の施策名		0301 学校教育の充実				市長マニフェスト		グループ	まかべ幼稚園グループ
政策名		03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				未来PJ事業			
施策名		01 学校教育の充実				合併建設計画事業			
基本事業名		04 幼児教育の充実				事業期間			
		財務会計上の位置付け				単年度繰返し (昭和52年度~)			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	10	04	01	03	00	まかべ幼稚園事業	
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 【事務事業の内容】 園児の健康状態を把握するため、内科・歯科それぞれ年1回の検診を実施している。 毎年5月に内科検診、6月に歯科検診を実施するほか、12月に新入園児を対象に健康診断を実施している。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の手順】 園医 (内科医・歯科医) の検診結果を個別の健康診断票に記録し、異常が認められた場合には文書で保護者に通知し、再検査結果を園に提出してもらう。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
【事業費の内訳】 園医・歯科医の報酬 各々年額16万円	内科検診	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	歯科検診	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
在園児	園児数	人	93.00	81.00	57.00	80.00	80.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
身体(健康)及び歯の異常確認	異常の無かった園児数(内科)	人	84.00	0.00	62.00	73.00	73.00
	異常の無かった園児数(歯科)	人	83.00	0.00	52.00	72.00	72.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	320	320	320	0	0
	事業費計(A)		千円	320	320	320	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	6.00人	6.00人	5.00人	6.00人	6.00人	/
	述べ業務時間	時間	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	
	人件費計(B)	千円	87	87	87	87	87	
トータルコスト(A)+(B)		千円	407	407	407	87	87	

27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
01 報酬	320		01 報酬	320	
合計		320	合計		320

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	まかべ幼稚園園児検診事業	事務事業No.	30104000100	所属課	まかべ幼稚園
-------	--------------	---------	-------------	-----	--------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和52年の幼稚園創立以来、園児の健康状態を把握するため毎年検診を実施している。異常のある園児には健康指導を行い、良好な保育が出来るよう毎年実施している。内科検診ではアトピー性皮膚炎や肥満傾向が多くなってきている。歯科検診では、虫歯による治療の必要性のある園児は減少傾向にある。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 基本的には幼稚園管理規則に基づき実施しているが、近年における幼児の健康状態やその傾向を知るうえで特に重要である。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 幼稚園管理規則順拠している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 園児を預かるうえで在園園児の健康状態を知ることは非常に重要であるため、幼稚園での検診実施は必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 幼稚園としては、園児の健康管理について十分な注意と配慮をして保育活動を行っており、検診業務に関しては向上の余地はないと思われる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 個々の園児の健康状態を把握出来なくなり、異常のあった園児に対する健康管理・指導がとれなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他の手段はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 園医・歯科医の報酬については条例の定めがあり、削減の余地はない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 在園児全員が対象であり、公平に実施している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	昭和52年の幼稚園開所以来、園児の健康状態を的確に把握するため毎年実施して。個々の園児の健康状態を把握し、健全な保育活動を実施するためには必要不可欠と考える。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>